

●コース距離：10.8km
●歩行時間：約2時間30分

- 1 東京メトロ東西線「門前仲町」駅
↓0.2km
- 2 深川不動堂
↓0.2km
- 3 富岡八幡宮
↓1.3km
- 4 洲崎神社
↓1.3km
- 5 木場公園
↓0.9km
- 6 仙台堀川公園
↓1.6km
- 7 砂町銀座
↓1.5km
- 8 小名木川
↓0.8km
- 9 旧中川
↓1.2km
- 10 亀戸中央公園
↓1.0km
- 11 亀戸水神宮
↓0.8km
- 12 JR総武本線「亀戸」駅



11 亀戸水神宮

創建は古く、室町幕府 12 代将軍足利義晴の治世のころ（1521～1546）と推定される。土民が水害から免れるための祈願として、弥都波能売神（ミズハノメノカミ）という水を司る女神が祀られている。

10 亀戸中央公園

日立製作所の亀戸工場の跡地を公園として整備したもので、1980 年（昭和 55 年）6 月に開園された。園内には草花、スポーツ施設、芝生の広場などがある。なかでも山茶花が数多く植えられており、「山茶花公園」とも呼ばれている。

12 JR総武本線「亀戸」駅

「かめいど」と読むのは、元々「亀井戸」と表記していたことに由来する。東京都により「錦糸町・亀戸副都心」として副都心指定を受けていることで、今回の下町散策を楽しむ旅は終点。



9 旧中川

1924 年（大正 13 年）荒川放水路（荒川本流）に注水を開始したことによって分断された中川の下流部分。川岸には東京都ポート協会が艇庫を所有しており、ボートを練習する社会人や学生も多い。



7 砂町銀座

戦前は30軒程度の普通の商店街だったが、戦後に店舗数が増え始め、1963 年（昭和 38 年）ごろに長さ 670m、店舗数約 180 軒の現在の形になった。昭和の色彩を残した下町の商店街で、1日のべ 2 万人が訪れる。



快汗ウォーキングコース

深川不動堂、木場公園から砂町銀座をめぐり、亀戸水神宮への下町散策を楽しむ半日コース



1 東京メトロ東西線「門前仲町」駅

近隣に富岡八幡宮などの社を抱え古くから門前町として栄えた。江戸時代に伊能忠敬など著名人が多く住んでいたことで知られる。下町散策を楽しむ今回の旅は、通称「門仲（もんなか）」と呼ばれるここがスタート。

3 富岡八幡宮

1624 年（寛永 4 年）、永代島に八幡宮を建立したことから創建当時は「永代八幡」と呼ばれていた。日本最大といわれる一の宮神輿は神輿倉の展示品として扱われている。江戸勧進相撲の発祥の地としても知られる。



6 仙台堀川公園

小名木川から分流し大横川に合流する仙台堀川の多くの部分を埋め立てて造られた、全長 3.7km の都内最大の親水公園。仙台堀は沿岸に仙台藩伊達氏の蔵屋敷があったことに由来する。



2 深川不動堂

成田山新勝寺の東京別院。1703 年（元禄 16 年）に成田不動の出開帳（いまで言う「秘仏特別公開」）が富岡八幡宮の別当・永代寺で開かれたのが、深川不動堂の始まり。門前の参道は通称「人情深川ご利益通り」といい、多くの人で賑わう。

4 洲崎神社

徳川 5 代将軍綱吉公の生母・桂昌院が崇敬した江戸城中紅葉山の弁財天を、護持院隆力の進言により 1700 年（元禄 13 年）、当地に遷座して創建。海岸に浮かぶ弁財天であったことから、文人墨客の参詣を集めていた。



5 木場公園

地名の由来どおり、近辺は材木業関連の倉庫や貯木場などが多かったが、現在の新木場へ移転したのを機に、防災都市計画の一環として森林公園として整備された。南、中、北の 3 地区に分けられ、木場公園大橋が各地区を連絡している。

